

【夏本番！】

梅雨明け以後、連日厳しい暑さの日が続いています。

皆さま、熱中症にはくれぐれもご用心ください。

さて、いよいよ小・中学校では夏休みが始まります。子どもたちにとって、待ちに待った夏休みの到来です。楽しみにしているイベントへのお出かけなど、この時期にしかできないことや、今しか味わえない経験にチャレンジできるのが夏休みの醍醐味です。

ぜひ、安全に気をつけて、有意義な時間を過ごしてほしいと願っています。



【第一段 平群北小・平群小学校体育館への空調設備設置が完成！】

今年3月から先ずは平群北小学校と平群小学校の体育館に、空調設備を設置する工事に取り組んでいましたが、お陰様で順調に進めることができ、17日（金）の一学期の終業式にてお披露目が出来ることとなりました。今、この便りを書きながら、子どもたちからの反応をととても楽しみにしています。工事中は、体育の授業等では大変ご不便をおかけしました。2学期からは、快適な温度のもと、思う存分走り回ってもらえます。

8月からは、第2段として平群南小学校及び平群中学校の設置工事に取りかかります。平群南小は来年1月・平群中は同3月の運用開始を目指します。順調に工事が進められますよう、ご協力をお願いいたします。

【絵本の寄贈を受けました！～町内4つの園、全小・中学校、図書館等へ～】

先週末（7/10：金曜日）のお昼の事です。平群町ゆかりの「藤田正弘さま」から、町内の子どもたちに是非ともこの絵本を届けて欲しい！という、とてもありがたいご寄贈のお知らせを、ある方を通じて受けました。

【寄贈絵本の紹介】

絵本 「津波!! ～命を救った稲むらの火～」(汐文社)

作者（原作）：「小泉八雲」 文・絵：「高村忠範」

あらすじ：安政南海地震の津波から村人を救った「濱口梧陵（浜口五兵衛）」を描く物語で、「稲むら（稲束）」に火をつけて、村人を高台へ誘導したという実話をもとにした作品です。あらすじはここまで。

後は、実際に手に取って読んでみよう！



ご紹介してくださった方のお話では、当初藤田さまは、平群町の全ての子どもたち一人一人にこの絵本を渡したいと申されていました。しかし、書店の方から現存する絵本の数に限りがあり、全員分

の購入は難しいとのお返事であったことから、せめて各クラスに1冊ずつ渡し、子どもたちに読んでもらおうということになりました。ついては、こども園は3歳児以上のクラスに、小・中学校は全クラス及び学校図書館に、加えて町立図書館、子育て支援センター等、子どもたちが絵本を手にとり読むことが出来る場所にお渡しすることとなり、合計100冊の絵本を寄贈していただきました。

本当にありがとうございます。では、藤田正弘さまをご紹介します。

町内福貴（ふき）には、国の重要文化財に指定されている「藤田家住宅」があります。

現在は大阪府堺市にお住まいの藤田正弘さまは、この藤田家のご親戚にあたられる方で、小学校低学年頃までこの藤田家住宅で過ごされており、当時を振り返って「おばあさまに本を読んでもらったり、色々なお話を聞かせてもらったりと、とてもかわいがってもらいました」と懐かしそうに語られています。

このような平群町への深い思い入れや、「平群の子どもたちに、ぜひたくさんの本を読んでもらいたい」というご自身の体験に基づいた温かい想いから、藤田さまからはこれまで何度も、町の子どもたちのために多大なご寄贈をしてくださっています。

【ご寄贈等ご支援の数々】

- ・ 児童書や絵本の数々
- ・ 「大火縄銃」や江戸時代の木版刷り書物、藩札・古銭等の歴史的な物品等の展示

藤田さまが、本や絵本がもつ魅力について、次のようにお話しをされています。

「今回の原作者である小泉八雲さんや、あるいは福沢諭吉さんと直接お会いしてお話することは不可能ですが、本を通してこの方の考えや人柄にふれることは出来ます。このことこそ、本や絵本がもつすばらしさであり醍醐味です。」

私も早速読ませていただきました。藤田さまが「是非とも子どもたちに！」とおっしゃったことが瞬時に理解出来ました。この先は、実際にみなさんも絵本を手に取り、藤田さまがおっしゃるそのお気持ちに触れてみてください！

【町立図書館イベント～開館20周年タイムカプセル企画～】

本年は、町立図書館が開館して20年目を迎える節目の年であります。

これまで、1月24日（土）に行った記念式典を皮切りに、数多くの事業を行ってきています。表題の「タイムカプセル」もそのうちの一つです。

- ◆ テーマ：「どきどき！わくわく！10年後の未来へ！」
- ◆ 募集内容：「残したい平群の風景」や「お気に入りの宝物」を写真や絵にして、10年後の未来に届けよう！」です。
- ◆ し く み：10年後の2036年に、図書館でタイムカプセルを開けて、お預かりした作品を展示します。お名前も含めて掲示をします！
- ◆ 募集方法：作成したメッセージを「角2封筒（A4版の用紙がそのまま入る大きさの封筒を各自でご用意願います）」に入れ、町立図書館カウンターまでお持ちください。

締め切りは、7月19日（日）「なつやすみ としょかんひろば」開催日です。

多数のご参加を、心よりお待ちしております！！



【町教育委員会主催 夏のイベント（２つ）】

（１）「World tour in Heguri part2」～心と体で世界を感じよう～

- ① 対象 午前：小学校１年生～４年生、午後：小学校５年生～中学校３年生
- ② 日時 ７月２４日（金）午前：１０：３０～１２：００（受付 １０：００～）
午後：１３：３０～１５：００（受付 １３：００～）
- ③ 会場 町総合文化センター くまがしホール他



〈開催の趣旨・目的〉

昨年度から開設したプログラムです。

これからの未来社会を歩む子どもたちには、世界という舞台で、人と人とがつながりあい、共存しあうために、互いを理解・協力しあう心と行動力が求められます。そのためには、人と人とがつながりあえるための「力」（コミュニケーション力）を身につける必要があります。

学校での学習だけではなく、自らの意思と行動力により、積極的な学びを推し進めていくことがとても大切です。

そこで、私たち教育委員会は、本町の子どもたちに対し、世界にふれることの魅力や興味・関心を抱いてもらいたく、今回のプログラムを企画しました。

「全く英語なんてわかんないなあ・・・」で大丈夫。世の中全て「それって何？」から始まるのです。「さあ、とにかくやってみよう!!」

〈プログラム内容〉

午前：いろんな国の驚き情報をゲームやクイズなどを楽しみながら学ぼう！

午後：all English で知っている英語を使って会話にチャレンジしよう！

（２）「へぐりこどもサミット」Heguri をここから動かそう！パート２

～平群ゆかりの武将：松永久秀をいかして～

- ① 対象 小学校４年生～中学校３年生
- ② 日時 ７月３１日（金）１３：００～１５：３０
- ③ 会場 町総合文化センター くまがしホール

〈開催の趣旨〉

町内の小・中学生が集まり、共通するさまざまな課題について考えあう場として「こどもサミット」と名付け取り組んでいます。

過去には、「どうすればもっと学校が楽しく・充実したものになるか!」というテーマのもと、「いじめをなくす方法」「もっと楽しくなる学校行事」など、いろいろなアイデアや意見を出し合いました。

このサミットの一番のねらいは、子どもたちが自分たちの学校や我が町平群町を良くする・自慢できるようになるために、普段とは違う学校や異年齢の人たちとともに意見を交わすなど、夢中になって考える機会を持つことにあります。「そこで得られた感覚や経験を、この先の生き方に活かしてもらいたい。自分に何が出来るのか、自分が何の役に立てるのか、そんな経験や体験をどんどん積んでいってもらいたい。」と願っています。

〈プログラム内容〉

今年のテーマは、平群にゆかりのある武将「松永久秀」さんをいかして「平群の新たな魅力」を創り出そう！です。

今、NHKの大河ドラマでは「豊臣兄弟」が放送されています。6月の場面では、竹中直人さん演じる「松永久秀」が取り上げられました。織田信長に対する松永久秀の謀反を「諫める（いさめる：相手の過ちやよくない言動を指摘し、改めるように忠告すること）」ため、豊臣兄弟が信貴山城にやってきて説き伏せ、その証として「ひら蜘蛛（ひらぐも：戦国時代の超有名な茶釜）」を差し出すことを承諾させる場面でした。ドラマでは、久秀は自身の考えを貫き、信長のもとに戻ることなく、信貴山城もろとも爆破してしまうという、壮絶な人生が放映されました。

これまで「松永久秀」は、「主君を裏切り、将軍を殺し、大仏を焼いた」と超悪役のイメージで取り上げられることが多い武将です。そこで、我が平群町として、「このまま悪役でいいのか！正しい歴史上の人物評価は！」を参加してくれている実行委員の子どもたちとともに検証し、「真の松永久秀」に迫りながら、新たな平群の魅力を創り出すことに取り組むことにしました。

早速7月4日（土）の第一回事前学習会及び翌週の11日（土）の第二回事前学習会に集まってくれた小学校5年生から中学校3年生までのメンバーは、「松永久秀のイメージチェンジ大作戦」に知恵を寄せ合ってくれています。

本番は7月31日（金）「いざ出陣じゃ！！」



【「平群中学校部活動」及び「平群町地域クラブ活動」夏の大会】



今年度4月から、休日における「地域クラブ活動」が奈良県下一斉に展開されています。

本町においても、子どもたちの活動が滞ることなく、これまで中学校部活動が担ってきた意義や役割を地域で継承していくことを目標に、4月から取り組んできています。

部によっては、平日の学校の顧問の先生と休日の指導してくださる方々とは異なるため、当初は不安等もあったようですが、指導者の熱意が徐々にその気持ちを払しょくさせる事へとつ

ながってくれたことは、今後に活かしていくべきことと捉えています。

現在、運動部3年生にとって集大成というべき「県総体（奈良県総合体育大会）」が始まっています。8月には吹奏楽部の県コンクールも開催されます。

これまで取り組んできた成果を、思う存分発揮してくれることを切に願っています。